

# 10月17日(月)

## 1年生 生活科「はっぱや みで あそぼう」

朝晩の気温が低くなり、学校の敷地内にある木々の葉が黄色やオレンジに色づいてきました。

1年生の生活科では、この時期、秋の自然と関わる活動を通して、「遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりする」ことや「自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりする」こと、「身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとする」ことができるようになることを目標にした学習を行っています。



葉っぱや実を集めに行こう！



葉の色や形を見極め、試行錯誤することで一枚一枚の葉の違いに気づきます。「これは宝石の代わり」と実を貼るAさん。



福田先生もイチョウの木の葉っぱを使った秋の帽子をかぶって、みんなの「作ってみたいな」という気分を盛り上げます。



世界にたった一つのオリジナル帽子のできあがり！  
おしゃれな二人組、帽子がお似合いです。

# 10月18日(火) 3年生こすもす学級 理科「太陽の光」

3年生の理科では、10月・11月を通して「太陽」に関する学習をしています。今日は、こすもす学級の3年生が、虫眼鏡と鏡を手に運動場に出て、「日光は直進し、集めたり反射させたりできること」や「物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること」について、実験しながら学習しました。



「鏡みたいに光を跳ね返していないね。」と柳田先生。  
「跳ね返す、じゃなくて光が集まっている。」とAさん。  
虫眼鏡を紙に近づけたり、遠ざけたりしながら光が集まる様子を観察しました。

「あれ？集まった光がどっかに行っちゃった。」とBさん。  
立つ場所を変えると、また光が集まりました。虫眼鏡と太陽の間に立つと、日光が虫眼鏡にあたらなくなるようです。立つ場所をちょっとずつずらして、「光ってまっすぐにしか、進めんのかも。」とBさんが言いました。  
やってみて気づくことができましたね。



今年度の3年生はこすもす学級に限らず全員が「理科学習ノート」を使って学習しています。

これは「書く力」の個人差に配慮し、実験や観察した内容を効率的に記録して、疑問や考察・話し合いなどの学習活動の時間を確保するためです。

教科書に書き込んだり、ポイントをまとめた紙を貼ったりして、書くことの負担感が学びの拒否につながらないよう工夫しています。

# 10月19日(水) 小中一貫教育モデル校の取組「予行練習見学」

令和4年度・5年度の2年間、尾倉中学校と皿倉小学校は、小中一貫教育モデル校として、様々な活動に取り組みます。

今日は、尾倉中学校の体育大会の予行練習の日。時間割の都合で、全員での見学はできませんでしたが、4年生・6年生・おひさま学級が尾倉中学校に行き、中学生の練習風景を見せていただきました。



尾倉中学校の運動場に初めて来た、という児童も多くいました。

運動場が一望できる階段に座らせてもらい、みんな真剣に中学生の姿を見つめています。



「みんなテキパキ動いていて、かっこいい。」

「ラジオ体操が違うものみたいに見えます。」

「来年、自分たちもやるんだなって思います。」等の感想が6年生から聞かれました。



リズム感あふれるダンスに、迫力のある走競技。「ヤーッ！」と立ち上がる様子もまた、コロナ禍にはなかった風景で、小学生には新鮮に見えたようです。



見学のお礼をスポーツ委員会の6年生3名が栗原校長先生にお伝えし、スポーツ委員会委員長の号令で、中学生に全員でお礼を言おうとしていたら、中学生の方から先に「皿倉小学校のみなさん、今日は練習を見に来てくれてありがとうございます！」と元気なあいさつを受けました。お返しに、「ありがとうございます、がんばってください。」と大きな声でエールを送ることができました。

尾倉中学校体育大会は10月22日(土)に行われます。  
お天気に恵まれ、中学生の良き思い出の一日になりますように。

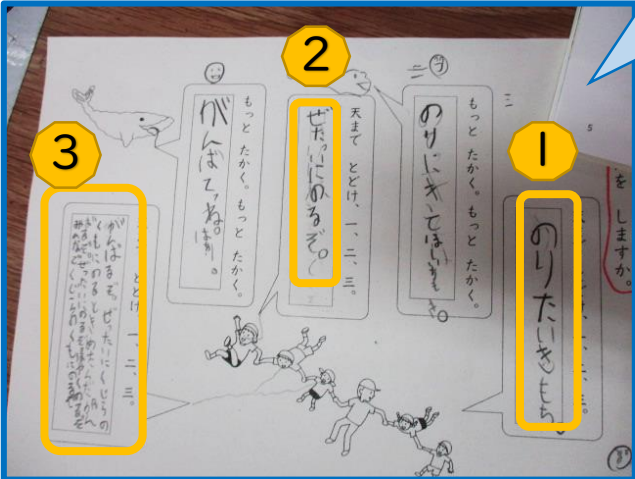
# 10月20日(木) 1年生 国語科「くじらぐも」



「くじらぐもと子どもたちが話している様子や気持ちを考えながら読んでみましょう。」と小西先生。黒板には、教科書の挿絵そっくりのくじらぐもが貼られています。



「くじらぐも」のお話の子どもたちは、「天までとどけ、一、二、三。」と言いながら、3回ジャンプします。ジャンプをするたびに高まっていく子どもたちの気持ちを思い浮かべて、学習プリントの吹き出しに書き込みました。



1 のりたいきもち。のりたいな。

2 ぜったいのるぞ。

3 がんばるぞ、ぜったいにくじらのくもにのると きめたんだ、  
がんばるぞ。ぜったいのるぞ、はやくのるぞ。  
みんなでのるぞ。

1年生の「くじらぐも」は、絵本「ぐりとぐら」シリーズの作者であり、映画「となりのトトロ」のテーマ曲「さんぽ」の作詞で知られる中川李枝子（なかがわりえこ）さんの、名作です。

プリントでの学習後、役割を決めてみんなでもう一度読んでみました。

くじらぐもの様子を想像して、低い声でゆっくりと会話の部分を読んだり、ジャンプする子どもになったつもりで、だんだん大きな声で元気いっぱいを読んだり、学習のめあてに合った読み方ができました。

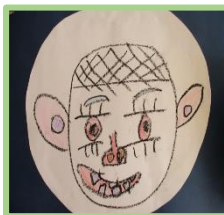
物語の世界観にひたりながら、声に出して読むことを楽しんで「くじらぐも」の学習をしています。おうちでも、きっと上手に音読をしていることでしょう。

# 10月21日(金) 想像するって楽しいな

9月末のアサガオの掲示物に続き、こすもす学級のみなさんが、ハロウィーンをイメージした掲示物を持って来てくれました。

見たことのないものや物語を想像することが苦手な人も、今回は楽しみながら作品作りに取り組めたようです。

作品作りを通して、手順を守って作ることや、のり・はさみ・セロハンテープ・お花紙などの道具や材料の正しい使い方などを学習することができました。



掲示物を見たみんなの感想です。

- \* これはおばけ？かわいい。こわくない。
- \* だれがつくった？すごい。じょうず。
- \* 楽しい気分で作ってるってわかります。
- \* みて、ぼくの。また作ったらはりに来るね。
- \* ふわふわしてるからいいね。
- \* 色の選び方が上手。